

第 1 回高知県スポーツ振興県民会議（地域スポーツ推進部会）
スポーツ振興の更なる強化対策の論点

論点①

人口減や新型コロナウイルス感染症の影響により変化するスポーツ環境への対策について【共通】

- ・障害の有無に関わらず、身近な地域で子供達がスポーツを継続できる環境づくりについて
- ・アフターコロナ及び With コロナの社会においてスポーツ活動を継続する対策について

（現状・課題）

- ・地域によっては子供のスポーツ環境に空白がみられる。
- ・人口減等により、今後、運動部活動やスポーツ少年団などの活動の継続が懸念される。
- ・障害者が活動できるチームや団体は、高知市周辺に集中しており、身近な地域で活動できる環境が十分でない。
- ・新型コロナウイルス感染症により、集団での活動が制限されている。

論点②

地域や職場において、運動やスポーツの効果を捉え、スポーツ参加の拡大につながる取り組みを増やすための対策について

- ・スポーツをする気にさせるために必要な対策について
- ・スポーツを通じて体力向上や健康づくり、障害者の社会参加につながる取り組みを進めるうえで必要な対策について

（現状・課題）

- ・運動やスポーツが好きな子供の割合が全国と比較して少ない。
- ・成人のスポーツの無関心層は約 2 割。スポーツをやらない理由は、「特にない」「機会がない」が多い。
- ・新型コロナウイルス感染症の影響により、スポーツイベントやスポーツ教室が中止・延期になり、スポーツを行う意識の低下が心配される。
- ・20 代から 40 代のスポーツ実施率が低い。
- ・身近な地域や職場で気軽にスポーツに参加できる機会の増加や機運の醸成を図る必要がある。
- ・障害者が気軽に参加できるスポーツ機会の拡充が必要。

論点③

本県の特徴を生かしたスポーツツーリズムをさらに活性化させるために必要な対策について

（現状・課題）

- ・地域におけるスポーツツーリズムの活性化が必要。
- ・アマチュアスポーツの大会や合宿による県外からの入り込み客数が伸びていない。
- ・自然環境を生かしたスポーツツーリズムの取り組みが一部の競技に限定されている。
- ・障害者スポーツのスポーツツーリズムの取り組みが十分でない。